

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【公表番号】特表2005-526778(P2005-526778A)

【公表日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-035

【出願番号】特願2003-576589(P2003-576589)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/713	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/12	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/713	
A 6 1 K	39/00	
A 6 1 K	39/12	
A 6 1 K	39/39	
A 6 1 K	39/395	V
A 6 1 P	37/04	

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

二本鎖RNAを含む、抗原に対するT細胞応答を増強するための組成物。

【請求項2】

二本鎖RNAが、ポリアデニン及びポリウラシルから成るdsRNA配列、ポリグアニン及びポリシトシンから成るdsRNA配列、又は、ポリイノシン及びポリシトシンから成るdsRNA配列である請求項1の組成物。

【請求項3】

抗原を更に含む、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】

前記抗原が医薬的に許容される担体に添加されて投与される、請求項3に記載の組成物。

。

【請求項5】

前記抗原が免疫グロブリンである、請求項3に記載の組成物。

【請求項6】

前記免疫グロブリンがIgGである、請求項5に記載の組成物。

【請求項7】

抗原が腫瘍関連エピトープである、請求項3～6のいずれかに記載の組成物。

【請求項8】

抗原がウイルスである、請求項3～6のいずれかに記載の組成物。

【請求項 9】

腫瘍関連エピトープが腫瘍関連T細胞エピトープである、請求項7に記載の組成物。

【請求項 10】

二本鎖RNAと抗原とを同時に投与するための請求項3～9のいずれかに記載の組成物。

【請求項 11】

二本鎖RNAを投与した後に、抗原を投与するための請求項3～9のいずれかに記載の組成物。

【請求項 12】

T細胞が、Th1細胞又はTc1細胞である、請求項1～11のいずれか1項記載の組成物。

【請求項 13】

非感染性抗原と、ポリアデニン及びポリウラシルから成る二本鎖RNA配列、又は、ポリイノシン及びポリシトシンから成る二本鎖RNA配列とを含む、非感染性抗原に対する大量域寛容を防止するための組成物。

【請求項 14】

非感染性抗原と、ポリアデニン及びポリウラシルから成る二本鎖RNA配列、又は、ポリイノシン及びポリシトシンから成る二本鎖RNA配列とを含む、T細胞の不応答を防止するための組成物。

【請求項 15】

非感染性抗原がウイルスである、請求項13又は14に記載の組成物。